

令和 2 年 9 月 29 日

所 属	文化振興担当
所属長	松長昌男
電 話	06-6489-6385

令和 2 年度「尼崎市文化功労賞」被表彰者の決定について

1 趣旨

この表彰は、市内において文化活動に指導的立場として長年従事され、市民文化の向上に貢献された方に対して贈られます。このたび、つぎのとおり被表彰者が決定し、表彰式を実施致します。つきましては、是非ご取材いただきますよう、お願い申し上げます。

2 被表彰者と活動分野

梶間 充子（かじま みつこ） その他（ファッションデザイン）
山村 啓雄（やまむら ひろお） 能楽（能楽師）

3 受賞者のご功績

梶間 充子 氏

ファッションを指導し、服飾デザイン分野でも才能を発揮し、またパリ オートクチュール組合校との交流を通じて、フランスとの架け橋の一役も担ってこられた。

山村 啓雄 氏

長年能楽の活動をされ、昭和 38 年から尼崎市内で指導者として、日本伝統芸能の普及に努められてこられた。

詳しくは別紙 1 のとおり

4 被表彰者略歴

別紙 2 のとおり

5 表彰式について

(1)日時

令和 2 年 10 月 19 日（月） 午前 10 時 15 分から

(2)場所

市役所本庁舎 特別会議室（北館 2 階）

(3)出席者（予定）

被表彰者、市長、副市長、議長

(4)新型コロナウイルス感染拡大防止対策

会場内では座席間隔、記念撮影時の人同士の間隔を十分に取り、ソーシャルディスタンスを保つと共に、式中はマスクの着用を前提とし、記念撮影のみマスクを外して執り行う。

以 上

受賞者のご功績

尼崎市文化功労賞

かじま みつこ
梶間 充子

単に着るだけでなく、自分の表現として、又、年配者には生き活きとした人生の目標としてファッションを指導し服飾デザイン分野において才能を発揮され、またパリオートクチュール組合校との交流を通じて、フランスとの架け橋の一役も担ってられました。

これらの活動は、本市の芸術文化の振興に多大なる貢献をなされている。

尼崎市文化功労賞

やまむら ひろお
山村 啓雄

長年能楽の活動をされ、昭和38年から尼崎市内で指導者として、日本伝統芸能の普及に努められてられました。常に技能の向上をめざして取り組み、単に能楽を極めるだけではなく、次世代を育て育む崇高な理念のもと活動、活躍されている。

これらの活動は、本市の芸術文化の振興に多大なる貢献をなされている。

令和2年度尼崎市文化功労賞略歴

被表彰者名 : 梶間 充子 (かじま みつこ)
 活動分野 : その他 (ファッションデザイン)
 生年月日 : 昭和19年 (1944年) 9月7日 75歳
 住 所 : 伊丹市
 活動歴 : 1965年 園田学園女子短期大学家政科家政専攻卒業
 1965年 鐘ヶ淵紡績株式会社意匠研究所
 1968年 伊東洋裁学校服飾研究家卒業
 2006年 園田学園女子大学短期大学部生活文化学科教授
 2010～2011年 大阪産業大学経営学部アパレル産業コース 特任教授
 2006年 (財)日本手芸作家連合会・43回創作手工芸展入賞 (44回～49回、51回)
 2012年 2012 JAPAN EXPO フランス展 デザイン賞

被表彰者名 : 山村 啓雄 (やまむら ひろお)
 活動分野 : 能楽 (能楽師)
 生年月日 : 昭和9年 (1934年) 6月17日 86歳
 住 所 : 尼崎市
 活動歴 : 1947年 能楽師 吉井司郎師 書生入門
 1957年 啓扇会設立
 1958年 第1回啓扇会 以降、継続
 1978年 重要無形文化財能楽の保持者認定 (社団法人日本能楽協会)
 1980年 富松薪能 以降、継続
 1980年 尼崎薪能 以降、継続
 1990年 尼崎市民芸術賞奨励賞受賞
 2002年 子ども能楽教室開講 以降、継続
 2003年 子ども能楽教室発表会 以降、継続

以 上